

## 「在宅での療養・看取り」についての情報提供を目的とした動画の御案内

北海道ホームヘルスケア研究会（3HR）では、「在宅療養・看取り啓発」を目的に動画を制作しました。今までの研究調査結果を基に道民ボランティア（市民と在宅医療の専門職者）の協力を得て完成しました。

過去数年間にわたって実施してきた国内外での比較研究調査や一般の人々および専門職者を対象とした聞き取り調査などから、在宅での療養や看取りについての正しい情報が一般の人々のみならず一部の専門職者（特に急性期・亜急性看護に携わっている）の人たちにも届いていないことが明らかになりました。地域包括ケアの推進が謳われる中でも日本の在宅死亡率が低い現状の（全国平均は約 14%、北海道の在宅死亡率はさらに低い）主要因の一つは、正しい関連情報が届いていないことにあると考えられます。

そこで、一般市民の方々と実際に在宅医療・ケアに関わっている専門職者ボランティア（在宅医療に携わる医師・訪問看護師・ケアマネジャー）の協力を得て在宅療養についての正しい情報提供を目的に動画を制作しました。「在宅医療・看取りを可能にするために：市民がプロにきく」と題したこの動画（DVD）は全国の小規模自治体に配付し、共有する予定です。同時に本研究会 HP（<http://home3hr.com>）に「貸出ライブラリー」を設置して、DVD の貸し出しを開始します。視聴後のアンケート回答をお願いします。詳細については HP をご参照ください。

2021/06/15

スーディ 神崎和代、 3HR 代表